

#### 4 配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業

【関連する職種(一般の呼称)】	
配管工、空調設備取付け、ダクト工、板金工、	ボイラーマン
築炉工、保温工、製罐(せいかん)工、機械とび、溶接工	
【石綿製品(代表的な2, 3)】	
石綿保温材・煙突材	石綿織物・ひも・ロープ
石綿パッキング・ガスケット	石綿セメント管・石綿パイプ



A  
二つ割りのケイカル系石綿保温材。非常に軽く断熱性に優れていますが、もろくて飛散しやすいのが欠点。放置すれば自然劣化により飛散し、敷地を往来する労働者がばく露する可能性があります。



B  
雨水のかかるような屋外では保温材の保護のために外周部に板金でカバーをします。屋内での配管保護は雨水の心配がないので布をゲートル状(包帯状)に巻きます。破損や劣化がなければ、石綿飛散の心配はありません。



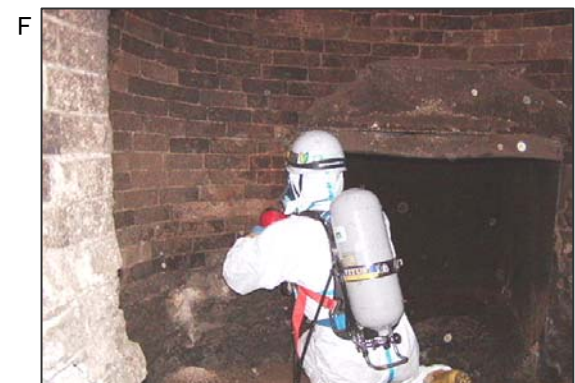
C  
ボイラー(お湯を沸かす装置)本体の全周囲に保温材が施工されています。そのボイラーから派生する管にも熱が冷めないように保温材が巻かれています。劣化・破損に注意。



D  
配管に石綿含有の水練り保温材を塗布し、包帯状に表面から布を巻き、更に表面塗装しています。劣化・破損がなければ、飛散の可能性はありません。



E  
どこにでもあるような地下機械室には石綿製品が溢れています。天井・壁の吹きつけ、そして多くの配管保温材や応急処理用の石綿パッキングや”ひも”は常に手に届くところに置かれていました。建物からの石綿ばく露も、劣化や破損に伴い起こり得ます。



F  
焼却炉用の独立煙突。耐火レンガ(原則的にはノンアス)に石綿板を接着剤で貼り付けることにより、熱を有効に使い、またレンガも長持ちします。炉の補修の際は、傷んだ石綿板を補修したり交換するなどした際に、石綿にばく露する可能性があります。